以下の要領に沿って、告知日現在の状況をありのままもれなくご記入ください。

《申込書兼告知書の記入要領》

消せるボールペンは使用しないでください。

同意欄をご確認のうえ同意チェックをご記入ください。

ご提出時にご確認のうえ確認チェックをご記入ください。
不明な点につきましては、「重要事項に関するご説明」をご確認いただくか、私学事業団の窓口または事務幹事保険会社までお問合せください。

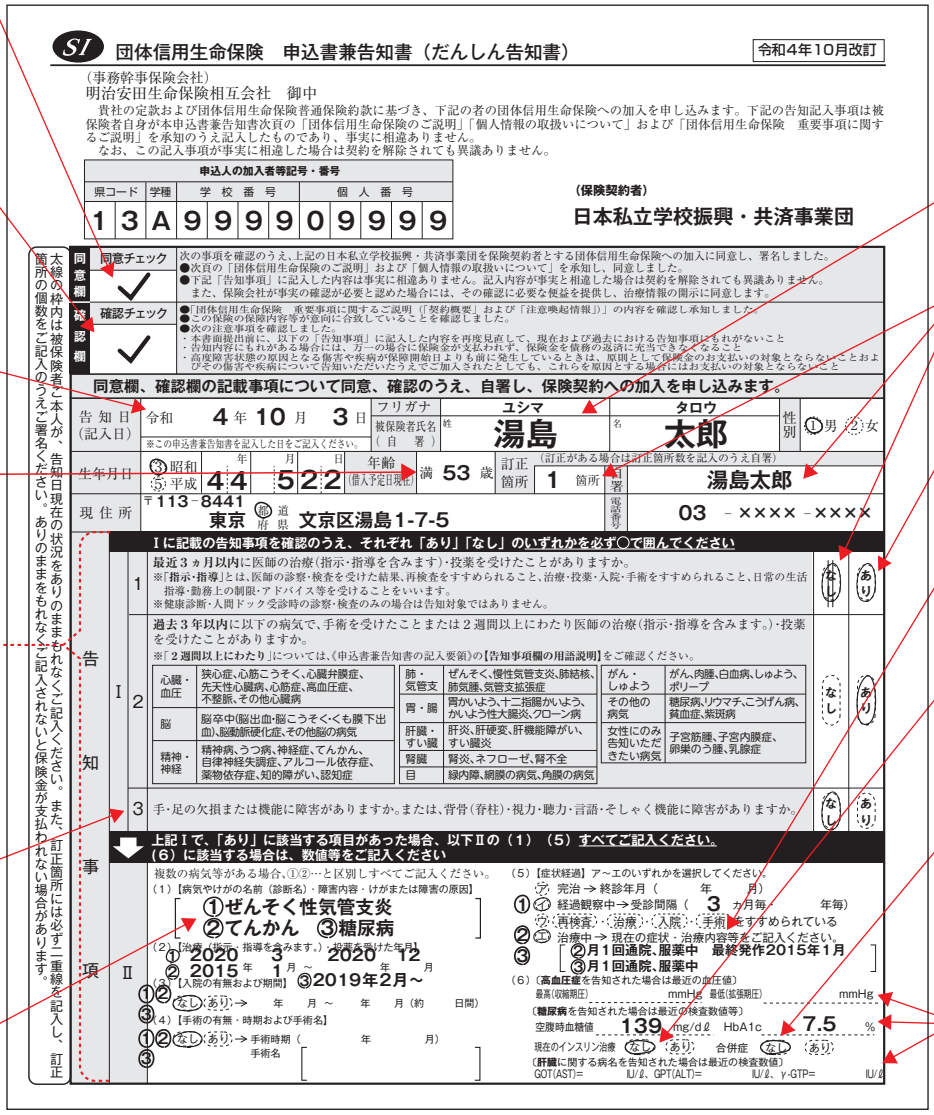
この「申込書兼告知書」に記入する日をご記入ください。(日付印は使用しないでください)

借入予定日現在の満年齢をご記入ください。

告知事項第１～３項のいずれかで(あり)と答えた方は、病気やけがの名前・障害内容・けがまたは障害の原因等を詳しくご記入ください。複数の病気等がある場合もそれぞれの病気について「①･･②･･」と区別しすべてご記入ください。

身体障害者手帳をお持ちの場合は、その写しをご提出いただくこともありますのでご了承ください。

目の病気や視力障害のある方は、発症部位(左右・両眼)を病名に含め、あわせて左右の裸眼視力・きょう正視力をご記入ください。



自筆でご記入ください。(ゴム印は使用しないでください)

訂正がある場合、訂正箇所数のご記入と自署(フルネーム)をしてください。

「告知事項」の質問に対し、(なし)・(あり)いずれかを○でかこんでください。

「てんかん」を告知された方は最終発作時期をご記入ください。

告知日現在、インスリン注射投与を受けている方は(あり)としてください。

糖尿病性眼症・糖尿病性腎症・末梢神経障害等、糖尿病に起因する合併症がある場合は(あり)に該当します。

病気の名前(診断名)に「高血圧(症)」「糖尿病」「血糖値高め」「耐糖能異常」「肝臓に関する病気」を告知された方は、数値記入欄に最近の検査数値等をご記入ください。

【告知事項欄の用語説明および告知対象事例】

「指示・指導」とは

医師の診察・検査を受けた結果、再検査をすすめられること、治療・投薬・入院・手術をすすめられること、日常の生活指導・勤務上の制限・アドバイス等を受けることをいいます。

【告知対象となる事例】

○腹痛で受診、医師よりアルコールを控えるようアドバイスを受けた。
○医療機関を受診したが病名は告げられていない。「様子をみましょう」と言われた。
○医療機関を受診し、病名は＊＊＊＊との診断を受けた。「半年後にまた来てください」と言われた。

【告知対象外となる事例】

○人間ドックを受診したが結果はまだ知らない　　○人間ドックを受診した結果、異常なし
○健康診断・人間ドック受診時の診察・検査のみ

「２週間以上にわたり」とは

一連の病気やけがで、医師の治療（指示・指導を含みます）や投薬を受け、転医、転科を含め、初診から終診までの継続加療期間で、医師の管理下にあった期間をいいます。(実際の診療日数ではありません。）過去３年以内に初診日が含まれていない場合でも、継続加療期間が３年以内に含まれている場合は、告知が必要です。また、２週間分以上の薬を処方されているときは、「２週間以上にわたり投薬を受けたこと」に該当いたします。

【告知対象となる事例】

○５年前に「狭心症」と診断され、現在まで発作の再発はなく、定期的な検査を受けている。
○10年前に「脳梗塞」を発症した。後遺症もなく日常生活に支障はないが、内服薬を処方され定期的に通院している。
○10年前に胃癌と診断され手術を受けた。その後再発・転移も無く現在は１年毎に通院し、経過観察を受けている。

【告知対象外となる事象について】

○完治後のかぜ・インフルエンザ　　○歯科医師（口腔外科は除く）による虫歯の治療・歯槽膿漏の治療
○色覚異常　　○完治後の急性虫垂炎の手術
○医師による治療として処方されたものではなく健康増進のための市販のビタミン剤の服用
○現在治療を受けていない花粉症・水虫　　○妊娠中および分娩後で定期健診のみ受診
○予防接種後の副反応および副反応疑いがない場合
○予防接種後に副反応または副反応疑いがあったとしても、医師による治療（指示・指導を含む）・投薬を受けていない場合

・この申込書兼告知書の太線の枠内は、被保険者が自筆でご記入のうえ、ご提出ください。
・記入後、本人控として「申込書兼告知書」の写しをおとりください。